

東京都北区景観づくりシンポジウム ～みんなで作る北区の景観～ 報告書

【開催概要】

日 時：平成28年3月19日（土）

19：00から21：00

会 場：北とぴあ

15階 ペガサスホール

参加人数：98名



1. あいさつ

北区長 花川 與惣太

北区の景観まちづくりは、景観法が制定される以前から区独自の条例に基づき、取り組んでまいりましたが、昨年四月、景観法に基づく新たな条例を施行するとともに、景観行政団体としてスタートいたしました。

また、北区の魅力をより一層活かし、実行性のある、景観行政を進めるため、昨年十月には、新たに北区景観づくり計画を策定し、運用を開始したところです。

景観まちづくりは、区民や事業者の皆さんが、まずは、自主的に身近な景観づくりを進めることが大切であることから、今回、「みんなで作る北区の景観」と題して、シンポジウムを企画させていただきました。

このシンポジウムを機に、多くの方が、景観に興味を持ち、理解を深めていただければと考えております。

2. 基調講演

講演者：秋山 秀一 氏 東京成徳大学教授、旅行作家

「世界の景観、北区の景観」

～北区をさらに魅力あるまちにする景観のちから～

北区の景観、日本の景観、世界の景観という視点から、秋山先生自ら現地に赴いて撮った写真をスクリーンに映してご講演いただきました。



【講演の要旨】

＜北区の景観＞

渋沢資料館のリフレッシュコーナーや北とぴあからの眺め、飛鳥山や都電など、秋山先生が実際に北区を歩いて感じたことを中心に観光の視点から北区の魅力を紹介いただきました。

＜日本の景観、世界の景観＞

日本国内をはじめ、世界各地で秋山先生が撮影された85点の写真を踏まえて、その内容に対するコメントをいただきました。

場所	写真	秋山先生のコメント
福井県 三国湊	 <p>@秋山秀一</p>	昔は、北前船で賑わって、明治の初めは日本で7つの活気あるまちの一つでした。今は、その時代の神楽づくりが残っています。
オランダ	 <p>@秋山秀一</p>	中央の建物だけ、窓が床まであります。建物の上の方には滑車があって運河から荷物を運ぶときにエレベータがないから、滑車で外から荷物を運びます。シドニーやコペンハーゲンも同じような作りです。 ところが、最近建った建物でも床まで窓はないのにみんな滑車がついています。 つまり、滑車のついた建物が風景になるということです。

<p>パリ (ノートルダム寺院)</p>	 <p style="text-align: right;">@秋山秀一</p>	<p>ノートルダム寺院の前には広場はなく、元々家がありました。今は広場になってしまいましたが、広場の地面には、家があったときの区割りが残っています。</p>
<p>ロンドン</p>	 <p style="text-align: right;">@秋山秀一</p>	<p>これは、長屋ですが、一軒一軒色を変えています。そうすることで、隣との差別化を図っています。</p>

3. パネルディスカッション

「みんなでつくる北区の景観」をテーマにして、2つの視点について、それぞれのパネリストの立場からのご意見をいただきました。

【テーマ】

「みんなでつくる北区の景観」

【コーディネーター】

北原 理雄 氏 千葉大学名誉教授

【パネリスト】

秋山 秀一 氏 東京成徳大学教授、旅行作家

浦野 秀樹 氏 北区西が丘自治会会長

塚本 二郎 氏 北区景観アドバイザー

堀江 正郎 氏 北区観光ボランティアガイドの会会長

「北区の魅力ある風景・景観」～まちにある良いところ～

【主なご意見】

- 北区には南北に崖線が走っており、台地と低地がはっきりわかれている。こうした境は、暮らしの面でもいろいろな変化があって多彩な文化が育っていく。それが北区の魅力ある景観をつくっている。
- 住宅街や崖線、隅田川など変化にとんだ景観をもっているところが魅力。
- 崖線や骨格となる交通網がつながって点在しているところが、北区の景観を語るときの重要な魅力の一つ。
- 桜など四季折々を都会のなかで十分に楽しめる。
- 西が丘地区付近は、桜がたくさん植樹されている。9月～12月には、自治会やボランティアの方が桜の落ち葉掃きをしている。こうしたコミュニティができていくことが良い。

「まちの魅力を活かすためには？」

【主なご意見】

- 北区は緑が多いことが意外と自慢となるのではないか。
- 最近、テレビドラマや新聞などでの北区の露出が多くなっており、もっと区外に向けた情報発信を行うとよくなるのではないか。
- 日常生活の中で少しでも意識して実践していただくと小さな点と点がつながって、街並みがよくなると思います。
- 道路に面して生垣などをきれいして、点と点の連続や活動がつながると区民の皆さんの主体的な景観づくりが進むのではないか。
- みなさんの知恵を活かして、小さな物語をたくさんつくって、そこを訪ねるように工夫する。
- 桜並木も立派になると道路などに対して悪さをする事となるので、桜を活かした道路などの整備も必要となる。

「みんなでつくる北区の景観」のまとめ

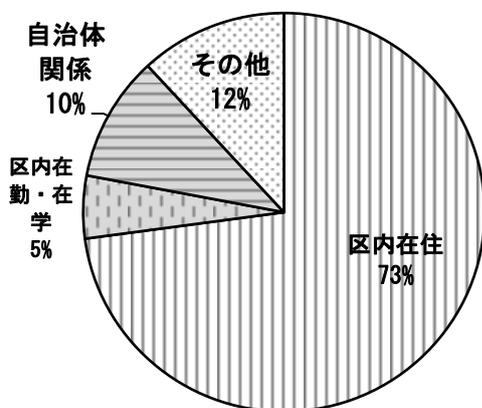
パネリストの皆さんのご意見を北原先生が以下のとおりにまとめていただきました。

1. 北区があまりよく知られていないことをチャンスとして、案内板や観光場所の説明板などを魅力的なものとしながら、色々なメディアを使って情報発信をしていくことが必要。
2. 情報発信する際には、区民のみなさんがもう一度北区を歩いて、慣れ親しんだまちを見ることにより、一人ひとりの物語や魅力的なエピソードを作って発信し、周囲の人たちに伝えるためのアイデアを活かしていくことが必要。
3. 北区の魅力を高めるために必要となるアイデアを区民の皆さんが考えたとき、北区がプロとしての知識を駆使しながら、区民の皆さんと連携して実現していくことが、これからもますます必要。

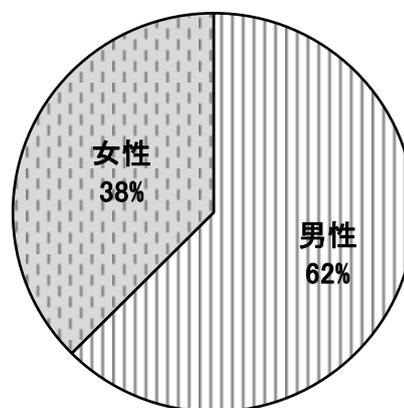
4. アンケート結果 (回答数：59件)

1. ご自身のことについて教えてください。

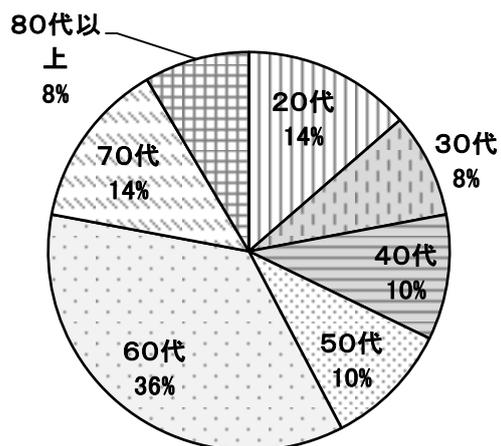
(1) 北区との関係



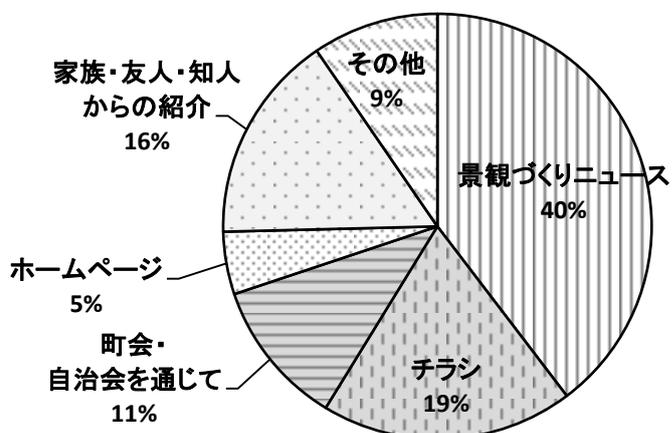
(2) 性別



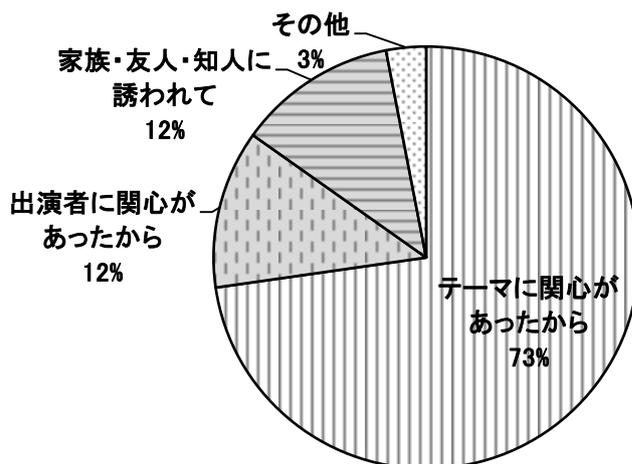
(3) 年代



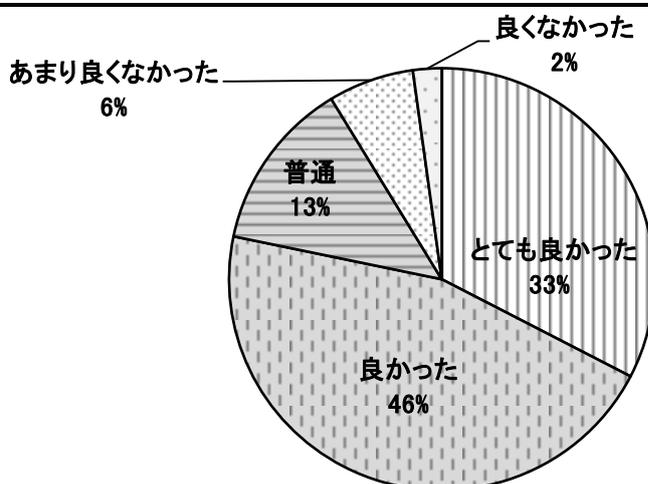
2. 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？(複数回答可)



3. シンポジウムに参加されたきっかけは何ですか？（複数回答可）



4. シンポジウム全体の感想をお聞かせください。



<良かった点> ※一部抜粋

- ・ 景観づくりが大切であることを知った。
- ・ 北区の魅力が改めてわかりました。
- ・ パネルディスカッションでそれぞれの立場での話が良かった。
- ・ 景観を通じてのまちづくりに関心が持てた。
- ・ 写真を使っての説明はわかりやすい。
- ・ 提案は、各パネリストの立場が出てよかった。
- ・ 北区で働く方、住む方など多様な立場の方のお話しが聞けたこと。

<良くなかった点> ※一部抜粋

- ・ パネルディスカッションは、お互いの対話を聞きたかった。
- ・ 会場にいる方の意見も聞きたかった。
- ・ 時間が足りないと思いました。
- ・ もっと北区にとって必要な景観づくり及び維持するにはどうするのか、その意見を言ってほしかった。

5. 本日のテーマ「みんなで作る北区の景観」に必要なことは何だと思いますか。

- ・一人ひとりが自分の住んでいるまちに対する意識を高めること。
- ・物語をつくり、発信するために自分の眼で北区を見つめていくこと。
- ・区民の皆さんが景観まちづくりについて話ができる場づくり
- ・身近でできる景観づくりパンフレットなどによる情報提供
- ・良い景観の案内板の充実、説明文も良いものを作る必要がある。
- ・区や行政が北区の魅力に気づき、景観づくりに活かしていくこと。
- ・コミュニティを良くするために子ども～大学までの子供も教育をする。
- ・西が丘のように先進的で主体的に取り組む地区が他の地区にも波及していけばよい。

＜※一部抜粋＞

6. 本日のシンポジウムに参加して感じたことや、北区の景観づくりについて自由にご記入ください。

- ・このシンポジウムに参加するのは初めてだったが、もっとこういった意見の交換や区民の意見を発信できる場があるとより自分の住む街に関心を持てるようになると思います。たまたま今回は知人に聞いて参加できたが、もっとこういう機会があることを簡単に知れるようにしても良いと思った。
- ・良好な景観づくり（あるいはその維持）にどのような施策が必要なのかもっと掘り下げた議論が必要。現状の良いところばかりを言ってもそれをどう維持し、発展させるかが必要。この議論を全体に活発にディスカスすることが少なかった。一般参加者からの意見もディスカスさせる時間が必要。
- ・北区のことはよく知らなかったけれど、まちを歩いてみて、景観の豊かさ、歴史、観光資源の豊富さに理解が深まるとだんだんと良いところとえてきたというお話が多かった。歩いて、見て、知り、好きになることが景観づくりにつながっていくので、そのような機会があればと思います。
- ・どこの区でも同じようなやり方をしているとつまらないので、独特なものを作り上げてほしいです、北区は個性的な街になってもらいたい。

＜※一部抜粋＞